

非売参考書

易やすしく 深く 面白い

道德科学習指導案作成

超

×3

入門

最終版

道德教育・教育経営

後藤 忠

巻頭言（超）×3 入門に寄せて

元号が令和と改元し、これから希望の時代が始まるようなわくわくとした気持ちになります。初春の令月にして 気潔く風和らぎ… そんな時代の到来を心から喜びたいと思いました。

四月からは中学校でも「特別の教科 道徳」（道徳科）が本格始動しました。まさに道徳科は令和とともに始まったと言ってもよいでしょう。

さて、道徳科がここに至るまでの過程で「新しい道徳」と「でたらめな道徳」とが混同され、恣意的で無意味な授業が蔓延するのではないかと内心心配したときもありましたが、今ではそれも杞憂に帰した感があり、正直ホッとしています。

もとより、指導法の工夫や開発は教師の使命であり、善意の意思に委ねられるべきものだと思います。単に形式的で固定的なだけの形骸化した指導法に従わなければならない道理などありません。しかし、だからといって「何でもあり」ではダメです。指導法は道徳科の目標にかなっていることが大前提でなければなりません。そうでない指導法のことを「でたらめな指導法」と言うのです。

本書は道徳科の目標にかなった学習指導案を作るための入門書です。

本書には、昭和33年（「道徳の時間」特設）以来、子供の道徳性の育成を期して創意工夫を凝らし、地道な実践を重ねてきた先人たちの学習指導案作成の英知が詰まっています。

初任者にも容易に理解できるように「易しく」、ベテランも納得の「深く」、そして誰もが「面白い!」と思える授業づくりを目指して、六回書き直しました。これが最終稿です。

本「道徳科学習指導案作成（超）×3 入門」は、特にレッスン⑩「評価」を中心に改訂しています。

著者

令和元年五月吉日 記